

## 2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
32304	コミュニケーション能力開発 Developing Communication Skills	河合 龍二			2	選択	1・2前期
<b>科目の概要</b>							
世の中は人間関係と評価で構成されている。相手や周囲との良好な人間関係を築くために必要な知識やコミュニケーションスキルを身に付けることが肝要である。それらをさまざまな場面で生かすトレーニングを積む。身近な場面として就職面接がある。適切な話し方や聞き方を学び、印象アップにつなげる。(ディプロマポリシー②④)							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 就職面接を意識して、適切なスキル（音声表現、発信力、傾聴力、司会者技術、場を読む力）を身に付ける。 ② 面接や討議において力を発揮できるように、感情のコントロールの必要性を理解する。 ③ 日常生活においても、自己の行動特性を知り、相手の特性に合わせて良好な関係を保つ工夫をする。				① 面接を意識したコミュニケーションの適切な取り方（傾聴力、司会者技術（話し方のスキルとテクニック、場を読む力）を身につけることができる。(ディプロマポリシー②) ② 面接時において力を発揮できるように感情のコントロールを身につけることができる。(ディプロマポリシー②④) ③ コミュニケーションロールプレイ（相手が意図していることを汲み取り、個性で表現ができるようになる。人のタイプを知るにより、処世術を身につけることができる。(ディプロマポリシー②④)			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	自ら進んで挨拶や声がけをし、リーダーシップの在り方を考えている。					
	働きかけ力						
	実行力	様々なコミュニケーションを学ぶことにより、よりその人が見えてくる。その人の特性にあわせたコミュニケーション（伝え方や聴き方）ができる。					
考え抜く力	課題発見力	プレゼン時のアドバイスを客観視することができ、修正しようとしている。					
	計画力						
	創造力	講義の中で固定観念に捉われることなく、自由な発想で考え、言葉で発したり記述したりできる。					
チームで働く力	発信力	相手に聞きたいと思わせる発表（声量、スピード、視線、内容構成等）を考えて発表できる。					
	傾聴力	話しの意図を掴む力を身に付けている。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
テキスト：毎回、教員の作成したプリントで実施する。 参考文献：美語研修 など 「人生の道しるべ 堀江俊通著」							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他科目との関連：ビジネス実務総論、キャリアデザイン 資格との関連：ビジネス実務士							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
職場でのコミュニケーションを意識した内容です。自分以外の人の良いところを学ぶこと、自分の良さを活かすことを常に意識して成長しましょう。また、常に自分は「どうありたいか」「目の前の人との関係性をどう築きたいか」など、礼節のある態度を必要とします。				プレゼンテーションの機会が多いので、特に話し方技術に対して努力し、日々の自分磨きに励みましょう。また、礼節ある態度を要します。思考の整理や即座の言語化、傾聴力伸長を目指して「ギャラリートーク」「お手紙まわし」「キャッチトーク」等の帯活動をします。トレーニングとして粘り強く取り組みましょう。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		<ul style="list-style-type: none"> <li>敬語に関する理解度を図るため小テストを行う。</li> <li>コミュニケーション阻害要因に関する理解度を図るため小テストを行う。</li> </ul>		
			②				
			③				
	平常評価	小テスト	20	①		✓	
				②		✓	
				③		✓	
		レポート	20	①		✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎回の振り返りシートを蓄積し、自らの学修を調整できる。</li> <li>社会でのコミュニケーションの在り方を理解できる。</li> <li>講義の内容を理解できている。</li> <li>自身の考えも表現ができている。</li> </ul>
				②		✓	
③				✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		50	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞き手を意識して話している。</li> <li>魅力が伝わっている。表現が豊かである。</li> <li>適正な声量・明確な発音・発声ができる。</li> <li>言葉遣いがきちんとしてできている。</li> <li>思いやりを感じられる。</li> <li>聞く態度はできている。</li> </ul>		
			②	✓			
	③		✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>(主体性) 自ら進んで挨拶や声かけし、リーダーシップのあり方を考えている。</li> <li>(実行力) 様々なコミュニケーションを学ぶことにより、よりその人が見えてくる。その人の特性にあわせたコミュニケーション(伝え方や聴き方)をしている。</li> <li>(創造力) 講義の中で固定観念に捉われることなく、自由な発想で考え、言葉で発したり記述したりできる。</li> <li>(発信力) 相手に聞きたいと思わせる発表(声量、スピード、視線、内容構成等)を考えて発表できる。</li> <li>(傾聴力) 話しの意図を掴む力を養成する。</li> <li>(課題発見力) 話しが客観視ができ、自分の課題を発見し、修正する力を身に付けている。</li> <li>(規律性) 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。</li> </ul>		
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の魅力を駆使している。考えをまとめ、話し方のスキルを身につけ、しっかりしたプレゼンテーションができる。</li> <li>相手への働きかけ、言葉遣いがきちんとしてでき、気遣いを感じる話し手である。</li> <li>傾聴し、理解する能力を身につけ、聴いた話を相手の気持ちを考えながら伝えることができる。</li> <li>相手に答えやすい質問をして、相手が話すように働きかけている。相手をスッキリさせることができる。</li> </ul> <p>A (優)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の魅力を把握している。考えをまとめる力をつけ、話し方のスキルを身につけ、人前で恥ずかしがらず最後まで自信を持って話すことができる。言葉遣いがきちんとしてできている。</li> <li>傾聴し、理解する能力を身につけ、聴いた話を相手の立場になって伝えることができる。話し手が「話してよかった」と思う満足感を得られる。</li> </ul>	<p>B (良)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えまとめることができ、話し方のスキルを二つ以上活用し、人前で最後まで話すことができる。</li> <li>言葉遣いができている。</li> <li>相手の話を聴き、理解する能力を身につけ、聴いた話を人にわかりやすく伝えることができる。</li> </ul> <p>C (可)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを助けを得ながらもまとめることができ、話し方のスキルを一つでも活用し、人前で話すことができる。</li> <li>言葉遣いに気をつけようと努力している。</li> <li>相手の話を聴き、理解する能力を身につけ、聴いた話を人に伝えることができる。</li> </ul>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・ガイダンス ・帯活動の説明と実践。	講義、演習 ・シラバスをもとに、授業のねらいと内容、評価方法の説明をする。 ・オフィス用語の理解、発声レッスン(毎回実施) ・自己理解、思考の整理、即座の言語化をねらいとするトレーニング(毎回実施)	・今後の具体的活動について知り、15回の見通しを立てることが出来る。 ・コミュニケーション能力を自ら高めようとする意欲をもつ。	(復習)振り返りシートで、何が分かり何が出来るようになったか確認する。授業で得たことを、日常生活で実践する。 授業での成果物はポートフォリオとして保管する。(以下同じ)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	SST(ソーシャルスキルトレーニング)Ⅰ 人間関係づくり	講義、演習 ・初対面での人間関係づくり ・当講座内で、互いに認め合う関係つくる。	・積極的に演習に参加出来る。 ・相手の長所を探し、伝えることが出来る。	(予習)コミュニケーションの種類についてインターネットや書籍で調べ不明な点は授業で聞けるようにする。 (復習)振り返りシートで、何が分かり何が出来るようになったか確認する。授業で得たことを、日常生活で実践する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	SST(ソーシャルスキルトレーニング)Ⅱ 職場での人間関係づくり	講義、演習 ・ビジネスの場での人間関係づくり ・自己理解の重要性	・積極的に演習に参加出来る。 ・相手の長所を探し、伝えることが出来る。 ・「場」において求められること察知出来る。	(予習)ビジネスマナーについてインターネットや書籍で調べ不明な点は授業で聞けるようにする。 (復習)振り返りシートで、何が分かり何が出来るようになったか確認する。授業で得たことを、日常生活で実践する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	聴き方のスキルⅠ アクティブリスニング 聴くことの可視化	講義・グループワーク ・テーマを設定し、即座のスピーチを傾聴する。 ・聴く姿勢、目線、うなずき等の効果を理解する。	「聴く」ことの重要性を説明することが出来る。	(予習)パーソナルカラーについてインターネットや書籍で調べ不明な点は授業で聞けるようにする。 (復習)振り返りシートで、何が分かり何が出来るようになったか確認する。足りない項目を意識して、日々改善に努める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	聴き方のスキルⅡ 自己の客観視 相互評価 メタ認知 レジリエンス	講義・グループワーク ・テーマを設定し、グループでディスカッションをする。 ・誰の意見も聞き逃さないよう集中して聴く。 (キャッチトーク)	テーマを設定し、グループでディスカッションをする。 メモを取りつつ、全員の意見を把握出来る。	(予習)印象管理についてインターネットや書籍で調べ不明な点は授業で聞けるようにする。家族や友人から、自身の癖を聴き取ってくる。 (復習)振り返りシートで、何が分かり何が出来るようになったか確認する。足りない面を意識して、日々改善に努める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	話し方のスキルⅠ 音声表現の基礎	ワークショップ 発音、発声、無声化、アクセント、イントネーション、プロミネンス	相手に誤解を与えず、聞き取りやすい音声表現ができる。	(予習)訥弁(フェラー)についてインターネットや書籍で調べ不明な点は授業で聞けるようにする。 (復習)振り返りシートで、何が分かり何が出来るようになったか確認する。適切な音声表現を意識して、日々改善に努める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	話し方のスキルⅡ 目配り、言葉遣い 差別用語の理解 重複表現の理解	講義・グループワーク テーマを設定し、即座にスピーチをする。 相手のしぐさや表情、目線、身振り手振りについての効果を指摘出来る。	気配り、心配りの行き届いたメッセージを、相手に伝える身体表現ができる。	(予習)「目の効果」についてインターネットや書籍で調べ不明な点は授業で聞けるようにする。 (復習)振り返りシートで、何が分かり何が出来るようになったか確認する。適切な音声表現を意識して、日々改善に努める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	話し方のスキルⅢ 緊張との付き合い方 論理的な話し方	講義・グループワーク ・緊張を強いられる場面を設定し、スピーチをする。 ・他からのフィードバックで、自己の特性に気付く。	・感情をコントロールし、納得のいく表現ができる。 ・他者の長所と改善点を見抜き、伝えることが出来る。	(予習)ディスカッションについてインターネットや書籍で調べ不明な点は授業で聞けるようにする。 (復習)振り返りシートで、何が分かり何が出来るようになったか確認する。傾聴を意識して、日々改善に努める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	話し方のスキルⅣ 礼節を重視するコミュニケーションの在り方 敬語表現	講義・グループワーク ・敬語を使うべき場面を設定し、即座に演じる。 ・適切な敬語表現であったか、自己評価・相互評価をする。	・尊敬語、謙譲語、丁寧語を理解して、適切に使うことができる。 ・声の出し方、届け方の違いを理解し、伝える話し方ができる。	(予習)敬語についてインターネットや書籍で調べ不明な点は授業で聞けるようにする。 (復習)振り返りシートで、何が分かり何ができたようになったか確認する。適切な敬語表現を意識して、日々改善に努める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	コミュニケーションの成立要件Ⅰ アンコンシャスバイアス 異年齢(上司)とのコミュニケーション	・小テスト(敬語) ・ケーススタディ 様々なタイプの上司がいることを知り、その対処について体験する。	年長者の立場や特性を知り、異年齢の上司との接し方をイメージできる。	(予習)カウンセリングについてインターネットや書籍で調べ不明な点は授業で聞けるようにする。 (復習)振り返りシートで、何が分かり何ができたようになったか確認する。傾聴を意識して、日々改善に努める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	コミュニケーションの成立要件Ⅱ 危機管理と交渉 職場でのハラスメント対応	講義・グループワーク ・緊張を強いられる場面を設定し、即座に演じる。 ・適切な表現であったか、自己評価・相互評価をする。	ハラスメントに関する言葉遣いや表現を理解できる。	(予習)カスタマーハラスメントについてインターネットや書籍で調べ不明な点は授業で聞けるようにする。 (復習)振り返りシートで、何が分かり何ができたようになったか確認する。言葉遣いに注意して、ハラスメントの加害者にならないよう努める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	コミュニケーションの成立要件Ⅲ ノンバーバルコミュニケーション コミュニケーションを視覚・聴覚・体感で捉える	講義・グループワーク ・テーマを設定し、即座にスピーチをする。 ・相手のしぐさや表情、目線、身振り手振りについての効果を指摘する。	視覚・聴覚・体感でコミュニケーションを捉えることができ、相手が理解しやすいようにアプローチができる。	(予習)ノンバーバルコミュニケーションについてインターネットや書籍で調べ不明な点は授業で聞けるようにする。 (復習)振り返りシートで、何が分かり何ができたようになったか確認する。足りない面を意識して、日々改善に努める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	プレゼンテーションⅠ グループで自ら課題を設定しどのように伝えるかを協議し、資料を作成する。	・小テスト(バイアス等) ・グループワーク 自ら課題発見し、その解決に向けた過程をPP資料としてまとめる。	相手が理解しやすいPP資料を作成できる。	(予習)自らの課題をまとめておく。 (復習)PP資料を完成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	プレゼンテーションⅡ アントレプレナーシップ(起業精神)をキーワードとして、個々の意見を持ち寄り、起業あるいは社会の仕組みを変える提案をする。	グループワーク テーマを決めて役割分担をする(シェアドリーダーシップ) ・思考が停滞したらNotebookLMで活性化させる。	与えられた役割を果たす。	(復習)調べ学習でプレゼン内容を充実させ、PP資料を作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	プレゼンテーションⅢ アントレプレナーシップ(起業精神)をキーワードとして、起業あるいは社会の仕組みを変える提案を、全体の場で発表する。	成果発表と評価 PP等プレゼンテーション資料をもとに、発表する。	・今まで学んで考えてきた内容を踏まえ、社会人として働く自分を想像し、ねらいどおりのプレゼンテーションができる。 ・発表原稿を見ないで表現できる。	(予習)プレゼンテーションの練習をする。 (復習)就職活動に必要な発信力が身に付いたかを内省する。実際の就活時や社会人となる心構えを持ち、コミュニケーションを総合的に捉える。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力